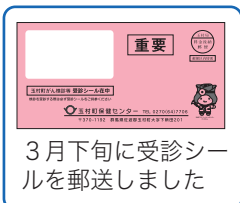




胃がん・大腸がん検診

令和8年4月1日より申込み開始



- 対象** 40歳以上
- 実施場所** 集団検診：保健センター 個別検診：指定医療機関（P.13・14参照）
- 申込方法** 保健センターまたは指定医療機関へ予約をし、検診当日、受診シールをお持ちください。
※70歳以上・生活保護世帯・町民税非課税世帯の人は無料です。生活保護世帯・町民税非課税世帯の人は、自己負担金免除者証を検診当日にお持ちください（P.15参照）。

検査方法		検診日		受付時間	会場	自己負担金	
集団	胃：バリウムの検査 大腸：便潜血反応検査 同日実施可能	5月	25日(月)	午前7時45分～ 9時45分	保健センター	各500円	
			1日(月)	午前8時30分～10時30分 ※大腸のみ			
		6月	7日(日)	午前8時30分～10時30分			
			11日(木)	午前7時45分～ 9時45分			
			16日(火)				
		9月	30日(水)	午前8時30分～10時30分 ※大腸のみ			
			10月	2日(金)			午前7時45分～ 9時45分
				15日(木)			
19日(月)	午前8時30分～10時30分 ※大腸のみ						
個別	胃バリウム検査 (集団検診と同様の検査)	5月1日(金)～ 12月28日(月)	玉村町・伊勢崎市の指定医療機関(P.13・14)にて実施(詳しくは各医療機関にお問合せください) 胃がん検診は検査の安全面から70歳以上の人は個別検診をご利用ください。		1,000円		
	胃カメラ検査				2,000円		
	大腸検査 (集団検診と同様の検査)				1,000円		

胃がん検診には、以下の2種類があります。どちらかを選択してください。

胃腸レントゲン撮影【胃バリウム検査】

バリウム（造影剤）と胃をふくらませる発泡剤を飲み、体位を変えながらエックス線で胃の形や粘膜を撮影します。
バリウム検査の結果、「要精密検査」となった場合には、胃内視鏡検査が必要になります。

次の人は、バリウム検査は受けられません。

- 妊娠中または妊娠の可能性がある
- 気管支にバリウムが入ったり（誤嚥）、むせたりしたことがある
- バリウム検査後にアレルギー症状がでたり、気分が悪くなったりしたことがある
- 水分制限を受けている
- 重度の便秘（バリウムが腸内で固まってしまった人を含む）がある
- 寝台の上で寝返りがうてない

胃内視鏡検査【胃カメラ】 ※個別検診のみ※
内視鏡を口または鼻から挿入し、胃の中を観察します。組織の一部を採取して、細胞の検査をする場合もあります。（その場合、自己負担金が別にかかります。）

注）次の人は必ず主治医に検診可能かご相談ください。


- 過去に心臓や脳血管疾患の手術や治療を受けた
- 心臓病や高血圧で内科治療をしている
- 手術をしてから初めてのバリウム検査である
- 胃や腸の病気で治療中または経過観察中である
- 3か月以内に大腸ポリープの内視鏡手術をした
- 大腸憩室症、潰瘍性大腸炎の診断を受けたことがある
- 手術による治療が済んでいない腸ヘルニアの既往、腹痛や血便の症状がある

令和8年度より変更になる検診について(胃カメラ検診)

令和8年度より、国の指針に基づき、胃カメラ検診の実施内容が変更となります。
詳細は町のホームページを参照してください。

【令和7年度まで】	【令和8年度から】
対象者：40歳以上	対象者：50歳以上
受診間隔：1年に1度	受診間隔：2年に1度

※40歳から49歳の方の胃がん検診はバリウムのみとなります。
令和7年度に胃カメラ検診を受診された方は、令和8年度は胃がん検診対象外となります。



おとなの検診（健診）